

タイプ

皆さんは、自分に合った勉強方法がどのようなものか、わかりますか。

あるところに、ある中学生がいました。その生徒は、テストのたびに、順位が上がったり下がったりするタイプの生徒でした。聞いてみると、テストのたびに勉強方法を変えており、それがうまくいくときもあれば、うまくいかないこともあるとのことでした。きっと、自分に合った勉強方法を探していたのだらうと思います。

自分に合う勉強方法を考えるには、そもそも勉強しなければいけません。ある程度の勉強時間を確保しなければ、自分の勉強方法を試すことはできません。人には、タイプというものがあります。ずっと長い時間、勉強しても大丈夫な人、すぐに飽きてしまい、勉強したら休憩を入れないとダメな人、自分でノートをつくる人、読みながらアンダーラインを引いていく人、問題集を何度も繰り返し使う人、どれがいいというわけではありません。自分にできる方法で勉強をすればいいわけです。

勉強方法を試すタイプの前述の中学生は、2年生の3学期に行われた実力テストで、初めて学年トップになりました。勉強方法がうまくいったようでした。ようやく、自分に合った勉強方法を見つけたその生徒は、3年生になっても、自分なりの勉強方法で努力を続けました。そして、第一志望の高校に合格しました。

勉強でも部活動の練習でもそうですが、うまくいかないとしたら、方法を変えてみる必要があるのではないのでしょうか。これは、社会に出て、仕事をするようになってからも役に立つことです。

例えば、自分のスケジュール管理をどうするかという問題があります。私の場合は、スケジュール帳を使っています。2月下旬になると、本屋さんに行き、4月始まりのスケジュール帳を買います。もう10年以上も、同じものを使っています。週ごとに自分のやるべきことを書き込んでいます。4色ボールペンとシャープペンが一体となったペンを使っています。赤色、青色、緑色、黒色をやるべき内容によって使い分けています。

今の時代は、スマホで自分のスケジュールを管理している人も多いことでしょう。それもできないことはないのですが、自分には、スケジュール帳が合っているので、そうしているわけです。

皆さんは、これからどんどん便利なものが出てくる時代を生きていくことになります。いろいろと試すこと、工夫をすることは、とても大切なことです。自分のタイプに合った自分のスタイルを見つけることが、充実した生活を送ることにつながります。まずは、テストに向けての勉強方法を工夫してみましよう。